

令和7年度 学校関係者中間評価

大阪市立大正西中学校 学校協議会

1 全体を通じた中間評価についてのコメント

- ・個人で抱えている問題はあるものの、学校全体としては雰囲気もよく落ち着いている。
- ・課題である学力も様々な取り組みで少しづつ改善しているのではないかと思います。
- ・生徒たちも「学校生活を楽しく送っている」と評価しているように、生徒は笑顔で登校していると思う。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとのご意見

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を83.8%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 年度末の校内調査において、「自分にはよいところがある」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度(82.3%)より向上させる。
- 年度末の校内調査において、「将来のこと（進路）や生き方について考えたことがある」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度(87.9%)より向上させる。
- 年度末の校内調査において、「困ったときに相談できる先生がいる」の項目で肯定的に答える生徒の割合を前年度(87.2%)より向上させる。
- 定期的（年2回以上）の避難訓練や防災訓練を通して防災意識を毎年高め、地域とともに歩む防災・減災計画に参画する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を35.7%以上にする。
- 中学生チャレンジテストにおける国語の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 年度末の校内調査において「まじめに授業に取り組んでいる」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 97.5%より向上させる。
- 食育を推進し、年度末の校内調査において「朝食を毎日食べている」に当てはまらない生徒の割合を 9.4%より減少させる。
- 調べ学習や読書活動など主体的な学習意欲を高めるため、昼休みの図書館開館を原則 5 回とし、昼休みの図書室利用者数を平均 15 名以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 授業日において、生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。

- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 96% 以上にする。

学校園の年度目標

- I C T 機器の整備と活用を推進し、授業を中心に、すべての学年や学級で生徒が I C T 機器を活用した活動を行う。
 - 年度末の校内調査において、「学校では、命の大切さや社会ルールについて学ぶ機会が多い」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 97.5%より向上させる。
 - 年度末の校内調査において、「家で学校の授業の復習をしている」の項目で肯定的に答える生徒の割合を 41.1%より向上させる。
- ・年々増える不登校生。「不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。」「前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。」の目標は厳しくあるだろうが是非お願いしたい。不登校生徒の減少と不登校気味の生徒が不登校にならないようお願いします。

3 今後の学校園の運営についてのご意見

- ・遠くない未来に直面するであろう課題に早めの行動をしなくてはと不安に感じています。
- ・大正西中学校の生徒たちは行事に熱心に取り組み、団結すると強いです。これは大切なことだと思います。熱い生徒たちをこれからもお願いします。
- ・学習動画は定期テストに合わせ活用しているのかと思いました。振り返り学習ができるることは良いことだと思います。
- ・図書館の利用について、放課後の自主勉教室としての利用をしてはどうでしょうか。